

教職課程自己点検・評価シート

- 3; 適切に実施している
- 2; 十分に実施していない・改善検討の必要がある
- 1; 実施していない・改善の必要がある

評価項目1;教育理念・学修目標

NO	レベル	点検項目	評価の基礎となる資料	自己評価(3,2,1)
1-1	全学教職課程 研究科・学科等	教員の養成の理念および当該理念を達成するための学修目標が明確な形で設定されているか	教職課程履修の手引き 資格課程(教職課程)webページ	3
1-2	全学教職課程 研究科・学科等	学修目標について、学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県教育委員会の策定する教員育成指標との関係性の考慮が行われているか	教職課程履修の手引き 資格課程(教職課程)webページ	3
1-3	全学教職課程 研究科・学科等	教職課程での学修成果や自己点検・評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われているか	教職課程履修の手引き 資格課程(教職課程)webページ	3

<1の報告事項>(現在の状況、評価できる点、改善を要する点とその改善方策・改善状況)

(現在の状況)教員の養成の理念を達成するための学修目標は適切に設定され、大学HPやシラバス、ポータルサイトなどで公開されている。  
 (評価できる点)履修カルテの項目に定める学修目標やシラバスに記載の学修目標など、教育委員会の教員育成指標等との関連を踏まえながら常に適切に点検が行われている。  
 (改善を要する点とその改善方策・改善状況)  
 ポータルサイトのみや説明会資料のみの情報があり、大学HP上での情報の公開が進んでいない項目がある。またすでに公開されている項目も、HP上で情報が散在している状況が確認できているので、整理を行う必要がある。そのほか、学修目標をはじめ研究科の専修免許に関する情報の公開については早期に対応が必要である。

評価項目2;授業科目・教職課程の編成及び実施

NO	レベル	点検項目	評価の基礎となる資料	自己評価(3,2,1)
2-1	全学教職課程	複数の教職課程における授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成が適切に行われているか	教育に関する基礎的科目等の教育課程表	3
2-2	全学教職課程 研究科・学科等	ICT環境、模擬授業用の教室、関連図書など、教職課程の学びに必要な施設・設備が整備されているか	教科用図書の整備 設備一覧	3
2-3	全学教職課程 研究科・学科等	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか。教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか	各学科の「教科及び教科の指導法に関する科目」の教育課程表	3
2-4	全学教職課程 研究科・学科等	教員として身に付けることが必要なICT活用指導力の全体像に対応して、各科目間の役割分担が適切に図られているか	シラバスの講義計画	3
2-5	全学教職課程 研究科・学科等	キャップ制をふまえたうえで、卒業までに修得すべき単位を有効活用して特色ある教職課程教育を行っているか	キャップ制に関する説明資料 教育課程表	3
2-6	全学教職課程 研究科・学科等	学修成果や自己点検・評価の結果等をふまえて教育課程の充実が図られ、適切な見直しが行われているか	教職課程での学びに関する満足度調査 教職課程点検評価シート	3
2-7	授業	シラバスの作成状況 シラバスに教職にかかわる授業科目の目的や到達目標・内容が明確に設定されているか 授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容が記載されているか	シラバス シラバスの書き方	3
2-8	授業	到達目標に応じて、アクティブラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか	シラバス	3
2-9	授業	学修成果や授業改善アンケートの結果をふまえて個々の授業科目の適切な見直しが行われているか	授業改善アンケート	3
2-10	授業	教育実習、学校体験活動、教職実践演習が事前事後指導を含め適切に行われているか ・教育実習を行ううえで必要な履修要件を設定しているか ・地域の子どもの実態や学校における教育実践の最新の事情について学生が理解する機会を設けているか	当該授業科目のシラバス 実習の手引き	3

<2の報告事項>(現在の状況、評価できる点、改善を要する点とその改善方策・改善状況)

(現在の状況)教職課程では教職支援センターにて必要資料の整備、ICT環境では学内アプリの使用やメディア授業を実践している。また各学科ではキャップ制を設け、専門演習に教科教育学を位置づけ適切な履修を促している。シラバスには授業目的や到達目標を明記し、アクティブラーニングを推進している。履修要件を設定し地域の教育委員会や学校と連携を取り、学生が最新の情報の理解の機会を設けている。  
 (評価できる点)教職支援センター運営委員会編集の紀要において満足度調査等の分析をしたり、授業改善アンケートの分析をしたりすることにより得られた問題点を共有し、環境設備の見直しや授業の改善をはかっている。シラバスは適宜点検されており、本学では教務係により統一的に記入され、内容が教員免許にわかるように明記されている。  
 (改善を要する点とその改善方策・改善状況)  
 必修科目と教職科目との重複を避ける必要があるため時間割の調整などの対応を継続していく。また今後もICT科目を増やしていくと共に、教職課程としては教育現場に則したアプリの導入も必要と考える。教職課程はすべてアクティブラーニング科目であると位置づけ、今後学生に授業内の手法などで情報提供を行っていく。

評価項目3;学修成果の把握・可視化の状況

NO	レベル	点検項目	評価の基礎となる資料	自己評価 (3,2,1)
3-1	全学教職課程	成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況	成績評価のガイドライン (全学共通のものを適用)	3
3-2	全学教職課程 研究科・学科等	教員養成の目標の達成状況を明らかにするための確認指標が適切に設定されており、教職実践演習に向けて「教職履修カルテ」を適切に活用できているか	教職履修カルテ コメント入力例	3
3-3	授業	成績評価の状況 ・各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的または定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・標語に反映することができているか ・公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっているか	シラバス	3

<3の報告事項>(現在の状況、評価できる点、改善を要する点とその改善方策・改善状況)

(現在の状況)成績評価のガイドラインが策定され、公表されている。  
(評価できる点)教職履修カルテの確認指標を設定し、各学生に合わせた教職履修課題の個別の指導にあたっている。  
(改善を要する点とその改善方策・改善状況)シラバスと共に教職履修カルテも適宜点検していく必要がある。

評価項目4;教職員組織の状況

NO	レベル	点検項目	評価の基礎となる資料	自己評価 (3,2,1)
4-1	全学教職課程	必要専任教員数を充足しているか 授業担当者がその授業科目を担当するのにふさわしい研究業績を有しているか 実務経験を有する教員を配置しているか	担当教員交代・任用時の審議議事録 (令和5年度第3回議事録) 教職課程変更届	3
4-2	全学教職課程	教職課程を適切に運営するための組織を設け、必要な教員・職員を配置し、役割・機能を明確化しているか	組織図、教職支援センター規程 教職支援センター運営委員会規程	3
4-3	全学教職課程	教職課程全体の質的向上につながるFD・SDが行われているか	2023年度第1回京私教協許員免許事務勉強会(6/17) 教務系職員初任者向け講習会(7/8) 2023年度第3回京私教協許員免許事務勉強会(12/2) 大学教務実践研究会教務課題検討フォーラム(12/16) 大学教務実践研究会教員免許事務担当者講習会(2/10)	3

<4の報告事項>(現在の状況、評価できる点、改善を要する点とその改善方策・改善状況)

(現在の状況)非常勤講師については交代時に公募制をとり、公正に研究業績審査を行っている。実務経験教員も経済情報学科4名、日本文学科1名、美術学科18名配置されている。また教職課程を適切に運営するため、教職支援センターが設けられており、教員職員の役割を明確化している。  
(評価できる点)教職課程の組織図、規定は明確化されており、キャリアサポートセンターからも人員を配置し、教職課程の出口のサポートにあたっている。  
(改善を要する点とその改善方策・改善状況)必要専任教員の充足は各学科の人事との重なりなどの課題もあり、今後は学科との連携を図りつつ専任教員の配置を提案している。全学的なFD、SDの取り組みは行われているが、教職課程として独自にFDの設定はしていないため、今後FDの側面を検討していく。

評価項目5;情報公表の状況

NO	レベル	点検項目	評価の基礎となる資料	自己評価 (3,2,1)
5-1	全学教職課程	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切に行われているか	資格課程(教職課程)webページ	2
5-2	全学教職課程	必要な資質能力を備えた学生を育成できているか、エビデンスとともに説明できるか	年次ごとの教職履修者数の推移 (教職支援センター紀要掲載情報)	3
5-3	全学教職課程	根拠となる資料やデータを示しつつ、わかりやすい自己点検・評価の結果を公表することができているか	点検評価シート 資格課程(教職課程)webページ 教職支援センター紀要掲載情報	2

<5の報告事項>(現在の状況、評価できる点、改善を要する点とその改善方策・改善状況)

(現在の状況)法令に定められた情報公表が行われている。また自己点検評価シートを作成し、公開した実施要領に基づき教育の内部質保証の点検を行っている。  
(評価できる点)年次ごとの教職履修者の推移、教員就職率などは基礎資料(教職支援センター紀要第4号、第5号)に示した通り数値化し、客観的な情報の整理と公開が出来ている。  
(改善を要する点とその改善方策・改善状況)発信された情報が学生や学外者にもわかりやすように、情報の整理や更新日時の設定、各種リンクの設定などを整えていく必要がある。  
また令和4年度に定めた「教職課程の内部質保証の実施要領」に基づき、教職支援センターにおける内部質保証を行っている。点検評価時期を含めた運用方法について、今後、委員会内で検討していく。

評価項目6;教職指導(学生の受け入れ・学生支援)の状況

NO	レベル	点検項目	評価の基礎となる資料	自己評価 (3,2,1)
6-1	全学教職課程	教職課程に関する積極的な情報提供ができていますか	教職ガイダンス資料 Teams「教職課程」チャンネル	3
6-2	全学教職課程 研究科・学科等	個々の学生の教職に対する意欲をふまえつつ、履修指導を行っているか	教職履修カルテ 学生の入力と教員のコメント例	3
6-3	全学教職課程	学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか	キャリアサポートセンターの 学内説明会・報告会案内等	3

<6の報告事項> (現在の状況、評価できる点、改善を要する点とその改善方策・改善状況)

(現在の状況)教職支援センター運営委員が定期的なガイダンスを行う共に、教職支援センターからICTを活用して、各種ガイダンスや教員採用試験報告会等の案内を行っている。また教職ポートフォリオ(履修カルテ)を活用して、教職支援センター運営委員会に所属する各学科教員が履修指導を行っている。  
(評価できる点)定期的なガイダンスを通して教職課程についての情報提供を行うとともに、ガイダンス、教職履修カルテを通して履修指導が行えている。キャリアサポートセンターと連携することで、大学推薦情報や臨時的任用講師募集説明会などの情報を配信していると共に情報の集約と把握がしやすくなっている。また大学所在地の県教育委員会による学内説明会を開催し、学生に参加を呼びかけている。学内説明会と合わせて教員採用試験合格者報告会を開催し、4年生の採用試験対策への取り組みについて後輩たちに受け継いでいる。  
(改善を要する点とその改善方策・改善状況)教職課程の学生に適切な指導をするため、教職履修カルテを適宜点検をの継続的に行う。

評価項目7;関係機関等との連携の状況

NO	レベル	点検項目	評価の基礎となる資料	自己評価 (3,2,1)
7-1	全学教職課程	教員の採用を担う教育委員会等と連携・交流を図り、教育課程や学生指導の充実につなげることができているか	学内説明会資料等	3
7-2	全学教職課程 研究科・学科等	教育実習・学校体験活動・学校ボランティア等を実施する学校と連携・協力を図り、実習や体験活動の適切な実施につなげることができているか	実習校へのアンケート 学校関係のボランティア報告 (教職支援センター紀要に掲載)	3
7-3	全学教職課程 研究科・学科等	学内外の諸機関との連携のもと、教育課程を充実させるために多様な人材をゲストスピーカー等として活用することができているか	教職実践演習実施内容 (教職支援センター紀要に掲載) 大学HP <a href="https://www.onomichi-u.ac.jp/docs/2023102700010/">https://www.onomichi-u.ac.jp/docs/2023102700010/</a>	3

<7の報告事項> (現在の状況、評価できる点、改善を要する点とその改善方策・改善状況)

(現在の状況)毎年、12月ごろに教職を目指す学生に向け「学内説明会」を実施しており、その際に意見交換ができています。また、教育委員会職員等から講義を受ける機会や教職実践演習内でゲストスピーカーによる研修、学生対象の講演なども実施する以外にも、翌年に教職につく学生を中心とした報告会を毎年、行っている。  
(評価できる点)教育委員会等との連携を行い、様々な場面で学生と教育委員会関係者とが関わりをもつ機会を提供できている。教育実習校・学校体験活動先の学校等との連携・交流を積極的に行い、学校関係のボランティア活動も推奨している。  
(改善を要する点とその改善方策・改善状況)教育実習校・学校体験活動先の学校等との連携・交流について他大学の状況を調べ、本学での取り組みと比較検討していく。

評価項目8;その他必要と認められる事項

NO	レベル	点検項目	評価の基礎となる資料	自己評価 (3,2,1)

<8の報告事項> (現在の状況、評価できる点、改善を要する点とその改善方策・改善状況)